

刻む会

たより

No.43

2011. 06. 16

長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会

代表 山口武信

【事務局】 宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内)

TEL 〇八三六(二一)八〇〇三

活動カンパ

振込先 ゆうちよ銀行 口座番号 015990-7-32405

追悼碑建立募金

振込先 ゆうちよ銀行 口座番号 01370-9-986003

ホームページ

http://chouseikizamukai-hp.web.infoseek.co.jp/index.htm

「国際平和と友好を追悼碑建立の地から発信するために」

長生炭鉱水没事故犠牲者追悼碑

建立委員会

委員長 小川 信



長生炭鉱の水没事故犠牲者追悼碑建設のため、多大なご協力、ご支援を下さっておられる「長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会」の会員の皆様、そして追悼碑建設にご賛同いただいた多くの方々に心から感謝いたします。

ご承知のことと存じますが、来年(二〇一二年)は水没事故から数えて七〇周年になります。節目となるこの年に追悼碑建設を具体化し、実現したいと考えており、目下そのためのあらゆる努力をしているところです。そのためには「刻む会」のメンバーの皆さん方をはじめ、この建設にご賛同、ご支援下

さっている方々に今一度のご協力をお願いしたく思っております。計画しています追悼碑の建設費・碑の管理等を含めて、二千万円を目標に取り組みを開始しましたが、残念ながらまだまだその額には達していないのが現状です。

「限られた期間」の中での取り組みになりますが、皆さんのさらなるご協力とこの事業に賛同し協力してこられた方々へさらなる拡大のためのご尽力を重ねてお願い申し上げます。例えば、二千人の方がお一人一万円ご協力いただければ二千万円になります。

「長生炭鉱“水非常”を歴史に刻む会」の永年の目的を実現し、国際平和と友好をこの追悼碑の地から発信したいと願っています。

なお、追悼碑建設の完成予定は再来年(二〇一三年)を考えています。

加藤登紀子

チャリティーコンサート

～長生炭鉱水没事故犠牲者
追悼碑建立に向けて～

9月25日(日) 15:30開演
宇部市 「渡辺翁記念会館」

※加藤登紀子さんのビデオレターは、「刻む会」のホームページで見ることができます！

事務局からの建立募金のお願いメッセージ

東日本大災害以来、追悼碑建立のカンパが集まらなくなって悲鳴を上げています。

来年2月の水非常70周年を期して、頑張ってきましたが、延長せざるを得ない状況です。初志を貫徹できるよう、お力を貸してください。(澄田亀三郎・典枝)



ご遺族を長い間待たせすぎましたので、一日も早い追悼碑建立のため、全力でがんばります。(井上洋子)



文字通り「闇に葬り去られた」長生炭鉱水没事故から70年を迎えようとしています。何故、このような事故が起こったのか。そして何故に、この長きにわたって放置されてきたのか。悲願の追悼碑建立は、その真実を歴史に刻むためのものです。どうぞ皆様、御協力をお願い致します。(事務局長 小畑太作)



追悼碑建立募金、どうぞよろしくお祈りします。(島徹史)

ひとりひとりのカンパは少額でも全国各地の理解ある人たちと繋がりながら目標額を達成したいと思っています。協力をお願いします。(木村道江)



「私が長生炭坑に拘わる様になったのは」

私が長生炭坑の水没事故に拘わる様になったのは、一つには宇部地方史研究会の会員になった事、もう一つは1960年代後半(昭和40年代前半)になって宇部市で女子高等学校の教員になったからです。学校には夏休みの間に家庭訪問があり、生徒の家庭を一軒毎に訪ねて歩いた時、たまたま生徒の家が石炭の採掘は止めていた長生炭坑の社宅であった。家は炭坑の盛んな時のままで住んでいるが、その補修もそこそこの元二軒分を使って間に合わせていた。話を聴いて居る内に、元労務係の人が東京に居ると言うので電話をかけてみた。しかし、「何も言うことは無い」と拒否されてしまった。たまたま地元の者の話で、西光寺の住職(先々代の佐々木真爾さん)が183名の葬儀に合わせて位牌を書いたということだったので、西光寺を訪ねた。位牌は粗末な蜜柑の箱に入っていた。

私の家は東見初炭坑で大納屋をやっていた。飯場もやっていたので人の出入りが多かった。鹿児島から夫婦で来ていた方がいた。その人たちから「仕事を求めて友人が山口県に来ていたが、長生炭坑で水没事故に見舞われて死んだ」と何度も聞かされた。

東見初炭坑の門のすぐ外には、毎勘定日に、朝鮮人の伝統的な品物などが売られていた。また小学校6年生の時は、長生炭坑の経営者の一人だった方の息子が同級生に居たので、まだ行って見たこともなかった長生炭坑の事が気になっていた。

長生炭坑で一番気になる事は、朝鮮人の八割近くが亡くなったのに、その地に何も具体的な表示がなされていない事である。その為に必ず犠牲になった方々全員の名前が刻まれる事が必要である。

一日も早く犠牲者追悼碑が建立できることを切望する。

長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会 代表 山口武信

毎年ご遺族が亡くなられています。一人でも多くのご遺族の方に待ちに待った追悼碑を見ていただけるよう、皆様のご協力をよろしくお願いします。(山内弘恵)



本来なら、はるか昔に「政治の責任」で建立しなければならなかった追悼碑!

一人一人の市民の力で「政治」を動かしつつ、がんばりましょう!あなたのお力をかしてください!!!

(佐々木明美)



「海の底の男達がほんとうに安らかに眠れるために」

ピーヤから「男たちの声」が聞こえます。

私たち183人が海の底に置き去りにされた歴史の事実を後世に残してほしい。全員の名前を刻んでほしい。戦争中の事故だと言って曖昧にしないでほしい。一朝鮮人労働者が強制連行されたこと、日本は強制的に大韓帝国を植民地にし、朝鮮人をこの地で酷使した歴史を正しく残してほしい。137人の朝鮮人の遺骨・遺品を朝鮮半島の土に返してほしい。日本人労働者は沖縄出身や貧しい農漁村からの次男・三男が多かった事を記録してほしい。こうした声は、「床波の海」が静かな時も、小雪が舞う時も、台風で荒れる時も、夏の落日の時も、二本のピーヤから交互に聞こえてきます。韓国の遺族の来宇時には、「この声」はさらに大きくなってきます。

「刻む会」、韓国の「遺族会」の交流は20年近くなりました。まだ目標の金額には距離がありますが、刻む会会員の皆様、建立委員会の皆様、賛同者の皆様、追悼式に参加された皆様、さまざまな情報紙で長生炭鉱水没事故の事をご覧になった皆様、どうぞ、追悼碑建立に一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

(副代表 内岡 貞雄)

(藤井和義)

夏休みだからこそ・・・
親子で歴史と平和について考えてみよう！

海に沈んだ炭鉱 フィールドワーク

いつ：7月30日(土)午前10時～午後1時30分

どこで：宇部市西岐波ふれあいセンター

内容：☆炭鉱についてのお話（クイズもあるよ！）

☆紙芝居「アボジは海の底」

☆韓国の文化を学ぼう！

～一緒に作って食べよう！おいしい韓国料理～

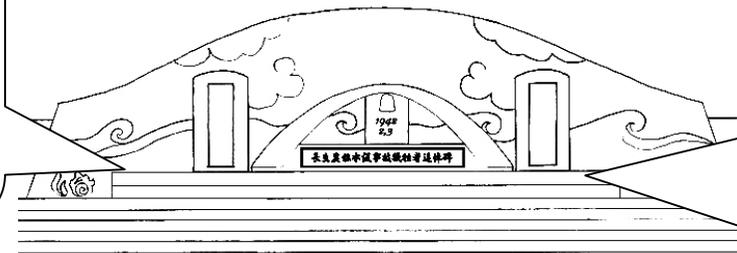
☆犠牲者のために海辺でお花を供えます

何かあるかは来ての
お楽しみ！
参加費は無料ですが、カン
パをお願いします！！



今、追悼碑のイメージを検討しています

支柱の前に献
花台を設け、そ
の前に犠牲者
の名前を刻ん
でいきます。



二つの支柱は朝
鮮人犠牲者と日
本人犠牲者の碑
となります。その
二本に平和の虹
をかけ、未来につ
なげていきます。

全体イメージは、ここが未来に向けた日韓の交流の場となるような公園形式を考えています。
正面にモニュメントをかたどります。モニュメントは海の中のピーヤをデザインしています。
地面は一人ひとりの思いを描いたエコブロックを敷き詰めます。